VOL. 1 昭和60年度（1985年）

三十五年目の失敗 …… 松永敏郎
登山と研修 …… 増子春雄
スキー登山で注意したいこと …… 渡辺正蔵
山スキーについて …… 降旗義道
山スキー技術と用具の歴史 …… 島田　靖
新しい山岳スキー用具 …… 北田啓郎
山スキーと危急時村策 …… 北山幹郎
山スキーの魅力 …… 青木俊輔
“雑感”－大学山岳部リーダー冬山研修会－
…… 小林政志
雪洞について …… 酒井秀光
低圧環境シュミレーター内における
高所順応トレーニング体験記 …… 渡邉雄二
高所登山と体力 …… 柳澤昭夫
調査研究事業報告（昭和59年度実施）
・大学山岳部リーダーおよび登山研修所講師の体力測定結果
・冬山登山におけるエネルギー出納および生体負担

VOL. 2　昭和61年度（1986年）

確保技術の研究 …… 石岡繁雄
ザイルを中心にした登はん用具の
性能と問題点 …… 川原　崇
岩登りトレーニングの一方法 …… 鈴木伸司
主催事業の変遷 …… 藤田茂幸
中高年登山熱中時代 …… 小倉董子
集団登山への考察 …… 植木一光
ヒマラヤ登山と遭難 …… 尾形好雄
私と登山 …… 近藤邦彦
車京見物でちょっと気分転換 …… 清水正雄
25年前の登はん記録 …… 高塚武由
高校山岳部の指導について …… 山中保一
登山の医学とはーⅠー …… 水腰英隆
登山とスタミナ …… 柳澤昭夫
山岳スキーと雪崩の危険 …… 新田隆三
スキーターンの研究
ーカービングターンとスキッティング
ターンの比較ー …… 堀田朋基・西川友之
北村潔和・福田明夫
スキーの安全対策 …… 松丸秀夫
悪雪におけるスキーターンについて …… 青木俊輔
調査研究事業報告（昭和60・61年度実施）
・岩登り（自由登はん）の筋電図
・岩壁登はん時の心拍数および直腸温の変化（予備調査）
・唐沢岳幕岩登はん中のエネルギー消費量

VOL. 3　昭和62年度（1987年）

登山の指導について …… 出堀宏明
たくましい子どもに …… 岩崎　正
実年（中高年）登山者の実態
体験レポートから …… 小倉董子
登山における慣れの大切さと危険 …… 増子春雄
「文部省社会体育指導者養成規準（案）」に
対する一私見 …… 小野寺斉
登山活動における自然学習（楽習）のすすめ
…… 小野木三郎
自分のヒマラヤ登山をしよう …… 尾形好雄
冬山の魅力と遭難を考える …… 中村祈美男
最近の遭難から …… 一色和夫
フィーゲルのすすめと，製作法 …… 松丸秀夫
私の「高所肺水腫」と，それにかかわること
…… 松永敏郎
登山と寒冷 …… 柳澤昭夫
富士山登頂と山頂短期滞在中の安静および
運動時生理的応答 …… 浅野勝己
高所キャンプでの夜間の無呼吸発作：
心配は無用か …… 増山　茂
登山の医学とはーⅡー …… 水腰英隆
調査研究事業報告
・唐沢岳幕宕登はんの心拍数およびエネルギー出納

・雪上歩行時の筋電図およびエネルギー消費量
・高等学校において登山活動を行っている
　運動部に関する調査報告
・スキーターンの筋電図学的研究
　ー山開きシュテムターンと
　　谷開きシュテムターンの比較ー

VOL．4　昭和63年度（1988年）

三国友好登山を終えて …… 重廣恒夫
三国友好登山体験記 …… 渡邉雄二
酷寒のアンナプルナ・Ⅱ南西壁 …… 山本一夫
リモⅠ峰初登頂 …… 尾形好雄
高校生をヒマラヤへ …… 山中保一
私のパノラマ写真 …… 瀬木紀彦
登山のコスモロジー …… 村井　葵
山スキーの勧め …… 草嶋雄二
テレマークスキー …… 根岸　知
登山中の運動強度と登山のためのトレーニング
…… 山地啓司
凍傷 …… 金田正樹
高地肺水腫既往者の医学研究登山 …… 小林俊夫
急性高山病その最新の概念　翻訳
…… 松本憲親・岩間斗史
スキーとスピード …… 柳澤昭夫
スポーツに見られる運動と身体機能について
…… 谷澤祐一
調査研究事業報告
・高等学校における登山活動を行っている
　運動部に関する調査報告
…… 藤田茂幸・柳澤昭夫・谷澤祐一
・スキーのコブ越え動作の習熟過程の研究
…… 北村潔和・藤田茂幸・堀田朋基
柳澤昭夫・福田明夫・青木俊輔
西川友之

VOL．5　平成元年度（1989年）

三国登山を体験してーまことに異例な登山ー
…… 大塚博美
三国友好登山隊員にみられた
高所網膜出血例について …… 鈴木　尚
雲の平にて発生した急性呼吸不全の一例
…… 中西拓郎
高所でのアルパイン・スタイルについて
…… 草嶋雄二
どの山に登ろうかな …… 林　信之
高所登山について …… 高橋通子
中高年によるヒマラヤ登山の留意点 …… 山森欣一
老化と高峰登山 …… 村井　葵
登山における危険性の認識限界について
…… 辰沼廣吉
EXPEDITIONSその計画の手順 …… 桑原信夫
高所登山における雪崩事故 …… 川上　隆
山岳通信について …… 芳野赳夫
中高年登山に想う …… 清水正堆
山岳会が帰ってくる
　’90冬山遭難報道の背景を読む …… 佐伯邦夫
再び文部省社会体育指導者資格付与制度について
…… 小野寺斉
ナイロンザイル事件 …… 石岡繁雄
登山とコンディショニング …… 柳澤昭夫
調査研究事業報告
・スキーにおける登行と滑走中の心拍数
…… 北村潔和・堀田朋基・柳澤昭夫
谷澤祐一・藤田茂幸

VOL．6　平成２年度（1990年）

「双六山楽共和国」の楽習登山教室
…… 小野木三郎
’90夏 モンブランで考えたこと …… 村井　葵
文明麻痺 …… 岩崎　正

自然の美しさと大切さに早く目覚めて欲しい
…… 中村祈美男
砂雪・泳ぎ雪・霜ざらめ …… 新田隆三
登山とチーム …… 柳澤昭夫
女性と体調 …… 関ふ佐子
ワイドクラックの技術 …… 中嶋岳志
実年（中高年）登山者の指導者養成への提言
…… 小倉董子
中高年の海外登山考 …… 田山　勝
高所登山における高齢者の動向
…… 今井通子・磯野剛太・小林　研
テイクイン・テイクアウト …… 山森欣一
アルゼンチン中部アンデスの山 …… 川上　隆
スキーのコブ越え動作の習熟過程に関する
筋電図学的研究
…… 堀田朋基・北村潔和・福田明夫
西川友之・柳澤昭夫・青木俊輔
藤田茂幸

VOL. 7　平成３年度（1991年）

１．技術研究「確保」について
⑴　技術指導について考えること …… 松永敏郎
⑵　スタンディングアックスビレイと問題点
…… 松本憲親
⑶　岩登りにおける確保と問題点 …… 山本一夫
⑷　張り込み救助時に発生する張力の計算
…… 松本憲親
⑸　ワイヤー引張試験結果 …… 町田幸男
２．海外登山の実践と今後の課題
⑴　シッキムの踏まわれざる頂
ーカンチェンジュンガ北東支稜の記録ー
…… 尾形好雄
⑵　ナムチャバルワ峰日本・中国合同登山
ー地球に残された最高の未踏峰ー
…… 重廣恒夫
⑶　東京農業大学ブロード・ピーク登山1991
…… 佐藤正倫
⑷　遠征隊の倫理観と国際交流について
…… 大貫敏史
３．スポーツクライミング
⑴　国民体育大会山岳競技を考える … 田村宣紀
⑵　高等学校山岳部活動のあり方と
全国高等学校登山大会及び
国民体育大会山岳競技 …… 石澤好文
４．登山と組織
⑴　登山と組織論 …… 森下健七郎
⑵　高校山岳部のあり方を求めて
ー栃木県高校山岳部員の意識調査からー
…… 桑野正光
⑶　よりよい高校山岳部のあり方を求めて
ー県内山岳部顧問の意識と実態調査からー
…… 桑野正光
⑷　登山の目的に関する研究
…… 浦井孝夫・柳澤昭夫
宮崎　豊・青柳　領
５．高所医学，運動生理
⑴　栃木県高体連中国崑崙ムーシュー・
ムズターグ峰　登山隊員への高所順応
トレーニングの経緯と成果をめぐって
…… 浅野勝己
⑵　高所登山と心拍数，血圧の変化 … 堀井昌子
⑶　高所登山における酸素補給の意義について
…… 中島道郎
⑷　「高山病に関する国際的合意」について
…… 中島道郎
⑸　高山・高地とパルスオキシメーター
…… 増山　茂
⑹　登山研修所友の会研究会報告1991
…… 山本宗彦

VOL.８　平成４年度（1992年）

１．高所登山の実践と今後の課題
⑴　冬期サガルマータ南西壁登攀 …… 尾形好雄
⑵　1992年日本・中国ナムチャバルワ合同登山 …… 重廣恒夫
⑶　ダウラギリⅠ峰登頂 …… 小野寺斉
⑷　高所登山の展望 …… 大宮　求
２．指導者と研修
⑴　日本山岳協会と指導者養成
－社会体育指導者養成を中心に－ …… 小野寺斉
⑵　プロガイドと技術研修織田博志
⑶　遭難救助指導者と技術研修 …… 谷口凱夫
３．スポーツクライミング
⑴　競技登山 …… 田村宣紀
⑵　スポーツクライミング・
コンペティション　ワールドカップの
歴史とこれからの展望 …… 大宮　求
４．登山用具研究
⑴　アルペン理論に放ける物理的単位
新国際単位系（SI） …… 鈴木恵滋
⑵　アバランチビーコンと雪崩対策 …… 北田啓郎
５．高所医学、運動生理
⑴　高所登山における問題点と対策 …… 浅野勝己
⑵　高所医学と生体酸素化の測定
－戦後の歩み－ …… 増山　茂
⑶　高峰登山の実践と高所トレーニングの
経緯と成果をめぐって …… 渡邉雄二
⑷　登山研修所友の会研究報告1992 …… 山本宗彦

VOL.９　平成５年度（1993年）

１．高所登山の実践と課題
⑴　より困難な登山を目指して …… 小西正継
⑵　登山における困難とは何か …… 和田城志
２．技術研究「危急時と雪崩対策」について
⑴　危急時対策 …… 柳澤昭夫
⑵　転滑落者の応急処置 …… 金田正樹
⑶　低体温症及び凍傷とその村策 …… 金田正樹
⑷　高峰登山におけるビバークの実際 …… 重廣恒夫
⑸　危急時対策用装備 …… 山本一夫
⑹　雪崩と雪崩に遭遇しないための判断 …… 川田邦夫
⑺　雪崩事故の緊急時対策と捜索要領 …… 谷口凱夫
⑻　雪崩埋没者掘出後の応急処置 …… 金田正樹
⑼　雪崩対策用具 …… 山本一夫
３．登山と運動生理
⑴　高所順応トレーニングと登山活動および
脱順応過程の有気的作業能に及ぼす影響 …… 浅野勝己
⑵　パミールにおける登山活動（1992）の
実際と生理的応答について …… 渡邉雄二
⑶　冬山登山における生体負担度 …… 浅野勝己
４．登山愛好者の特性と実態
…… 鶴山博之・畑　　攻・捕井孝夫
柳澤昭夫・宮崎　豊
５．登山研修所友の会研究会報告1993 …… 山本宗彦

VOL.10　平成６年度（1994年）

１．登山記録
⑴　エベレスト・サウスビラーの登頂 …… 本郷三好

⑵　富山県山岳連盟
’94ガッシャーブルムⅠ峰（8,068m）
遠征隊 …… 佐伯尚幸
⑶　バギラティ２峰南西壁 …… 織田博志
２．肺水腫の予防と対策
⑴　高地肺水腫の予防と対策
…… 小泉知展・小林俊夫
３．登山と体力
⑴　耐水力，行動力 …… 馬目弘仁
⑵　登山の体力 …… 鈴木清彦
⑶　高所登山と体力 …… 尾形好雄
⑷　高峰登山とトレーニング …… 浅野勝己
４．遭難救助技術
⑴　登山者側の遭難救助技術 …… 松本憲親
⑵　レスキュー隊の遭難救助技術
…… 西山年秋
⑶　安座式特殊吊り上げ救助ベルトについて
…… 金山康成
⑷　ヨーロッパにおける山岳遭難救助活動
…… 高瀬　洋
５．研究論文
⑴　冬期サガルマータ南西壁の攻略
…… 尾形好雄
⑵　人工壁とその強さ …… 鈴木恵滋
⑶　登山の目的とそのパターン分類に関する研究
…… 鶴山博之・畑　　攻・宮崎　豊
柳澤昭夫・鈴木　漠
６．登山研修バックナンバー
VOL.11　平成７年度（1995年）
１．登山の記録
⑴　マカルー東稜初登攀 …… 山本宗彦
⑵　エベレスト北東稜初登攀 …… 古野　淳
⑶　ギヴィゲラ峰（トゥインズ7,350m）登攀
…… 山下康成
⑷　寧金抗沙峰（ニンチンカンサ・7,206m）登攀
…… 石澤好文
⑸　ナンガ・パルバット登攀 …… 坂井広志
⑹　コングールⅣ峰初登頂 …… 高橋清輝
２．用具と技術
⑴　確保器具について …… 松本憲親
⑵　低体温症とその治療 …… 金田正樹
⑶　新素材ロープの特徴と問題点
高強度ポリエチレン糸ダイニーマに関して
…… 遠藤京子，秋山武士
３．スポーツクライミング
⑴　スポーツクライミング概論
ーアルパインクライミングの立場からー
…… 馬目弘仁
⑵　フリークライミングの技術取得 …… 北山　真
４．事故対策
⑴　京都山岳会の実態 …… 宮川清明
⑵　大学山岳部における事故対策について
…… 熊崎和宏
⑶　北海道大学山岳団体の実態事例
…… 成瀬廉二
⑷　レスキューリーダー制度について
…… 西原　正
５．高所登山と低圧環境トレーニング
⑴　高所での経皮的動脈血酸素飽和度測定の経験
…… 鈴木　尚・角家　暁・熊野宏一
鈴木　漠・柳澤昭夫・藤原　洋
⑵　ニンチンカンサ峰登頂への高山病予防の為の
高所順応トレーニングおよび登山中・後の生
理的応答に関する高所生理学研究
…… 浅野勝己
⑶　1994年日本バギラティ峰登山隊で観察された
努力息堪え時間（VBHT）について
…… 中島道郎，柳澤昭夫

⑷ 登山トレーニングの観点からフィンランドの平圧－低酸素トレーニング施設“アルプスルーム”の可能性を探る …… 青木純一郎
⑸ 高所登山に必要な体力とそのトレーニング方法－特に最大酸素摂取量以外の能力に関して－ …… 山本正嘉
⑹ 低圧室を利用したトレーニング …… 渡邉雄二
⑺ 高所登山のトレーニング …… 遠藤由加
⑻ 高地トレーニングを考える …… 柳澤昭夫

6．平成6年度・7年度登山研修所友の会研究会報告
⑴ 文部省登山研修所友の会1994年度総会報告 …… 山本宗彦
⑵ 文部省登山研修所友の会1995年度総会報告 …… 山本宗彦

7．既刊「登山研修」索引

VOL.12　平成8年度（1996年）

1．登山記録
⑴ 日本山岳会青年部K２登山隊報告 …… 山本　篤
⑵ K２登攀 …… 戸高雅史
⑶ ウルタル２峰各面のルートと1996年南稜からの登頂 …… 高橋　堅
⑷ トランゴ・ネームレスタワー（6,239m）登攀 …… 篠原達郎
⑸ プーコーラ源流の２つの初登頂－1994年ギャジカン・1996年ラトナチュリー …… 田辺　治
⑹ メルー東北東稜シャークスフィン登攀 …… 馬日弘仁

2．指導者の養成と研修
⑴ スポーツ指導者養成事業の文部大臣認定制度の概要と現状 …… 鈴木　漠
⑵ 日本山岳協会のコーチ養成カリキュラム（テキスト）及びスポーツ指導員養成カリキュラムについて（専門科目）と検定方法 …… 小野寺斉
⑶ 大学山岳部における指導員養成の現状と問題点 …… 熊崎和宏
⑷ 高等学校・高等専門学校登山指導者夏山研修会主任講師の立場から …… 小野寺斉
⑸ 高等学絞の登山指導者と研修 …… 渡邉雄二
⑹ 指導者養成について …… 松本憲親
⑺ 遭難救助指導者の養成 …… 谷口凱夫
⑻ スポーツクライミングの指導 …… 山崎順一
⑼ 研修会と私 …… 松永敏郎

3．登山用具と製造者責任
⑴ 登山用具と製造者責任 …… 越谷英雄
⑵ プラブーツ突然破壊問題に関する山岳４団体懇談会の活動の経緯と今後 …… 小野寺斉

4．論　文
⑴ 雪上における確保技術について（その１） …… 松本憲親
⑵ 平圧－低酸素室の使用効果について …… 前嶋　孝
⑶ 高峰登山のタクティクス考察 …… 尾形好雄
⑷ 安全登山と体力－登りと下りの違いに注目して－ …… 山本正嘉
⑸ 高所での経皮的動脈血酸素飽和度測定の経験⑵ …… 鈴木　尚・熊野宏一・角家　暁　鈴木　漠・藤原　洋・柳澤昭夫　佐伯正雪
⑹ K２登山における環境・衛生に関する活動と考察 …… 亀山　哲・山本　篤
⑺ 雪崩から身を守るために …… 秋田谷英次

⑻　雪崩事故にあわないために
　　－高所登山の面から－ …… 尾形好雄
５．平成8年度登山研修所友の会研究会報告
　　…… 加藤智司
６．既刊「登山研修」索引

VOL.13　平成９年度（1997年）

１．登山記録
⑴　剱・立山・黒部の冬期登山 …… 伊藤達夫
⑵　チョモランマ峰にて1997 …… 戸高雅史
⑶　カラコルム・八千米峰トリプル登頂
　　…… 尾形好雄
⑷　Ｄ１からＧ１へ …… 北村俊之
⑸　Ｋ２西稜から未踏の西壁へ …… 田辺　治
⑹　1997，ガウリサンカール …… 山野井泰史
２．雪上技術
⑴　雪上における確保 …… 柳澤昭夫
⑵　雪上の支点強度の測定結果のまとめとその考察
　　…… 登山研修所
⑶　コンティニュアスクライミングにおける
　　確保について …… 松本憲親・鈴木　漠
　　柳澤昭夫・渡邉雄二・宮崎　豊
　　藤原　洋・佐伯正雪・谷村英一
⑷　雪上救助活動の支点に「土嚢」を利用
　　…… 西山年秋
３．危急時対策
⑴　危急時の意味と要因 …… 松永敏郎
⑵　危急時に落ち込まないために …… 北村憲彦
⑶　危急時からの脱出 …… 小林　亘
⑷　危急時における対処体験
　　冬富士での出来事 …… 猪熊隆之
　　事故現場に居合わせて …… 織田博志
　　谷川岳の草付で …… 恩田真砂美
　　芝倉沢でのブロック雪崩 …… 柏　澄子
　　マッターホルンでの体験 …… 北村憲彦
　　登山歴６年目，生徒を引率した
　　夏山での事故 …… 小林達也
　　教員生活で眠れなかったのは
　　あの時だけだった …… 後藤　尚
　　思い込みと判断力 …… 瀬木紀彦
　　三峰川岳沢での事故 …… 瀧根正幹
　　ダウラギリの雪崩 …… 棚橋　靖
　　硫黄尾根の体験から …… 寺沢玲子
　　冬山の火事 …… 早川康浩
　　雪崩遭遇体験 …… 松原尚之
　　私の危急時体験 …… 松本憲親
４．研究論文
⑴　低酸素環境下での腹式呼吸の効果に関する研究
　　…… 山本正嘉
⑵　高所での経皮的動脈酸素血酸素飽和度の経験⑶
　　…… 鈴木　尚・鮴谷佳和・安田幸雄
　　熊野宏一・柳澤昭夫・渡邉雄二
　　藤原　洋
⑶　標高3,000mにおける長時間縦走とトレーニング
　　…… 岩瀬幹生
⑷　私のトレーニング …… 山野井泰史
５．文部省登山研修所創立30周年記念特集
⑴　文部省登山研修所30周年記念座談会
　　－30年を振り返り将来を展望する－
　　…… 記録　山本宗彦
　　湯浅道男・松永敏郎・渡辺正蔵
　　佐伯正雪・森　紀喜・佐伯友邦
　　山本一夫・柳澤昭夫
　　渡邉雄二（司会）
　　山本宗彦（書記）
⑵　登山研修所－これからの課題と展望－
　　スポーツ科学 …… 山本正嘉
　　登山技術 …… 松本憲親
　　高峰登山 …… 尾形好雄

遭難事故防止対策 …… 谷口凱夫
高等学校登山部 …… 石澤好文
大学山岳部 …… 山本宗彦
社会人山岳会 …… 北村憲彦
山岳ガイド …… 磯野剛太
中高年登山者 …… 重廣恒夫
⑶ 30年間を振り返って
研修会と私⑵ …… 松永敏郎
研修所での思い出 …… 増子春雄
登山研修所，30年の思い出 …… 佐伯正雪
登山研の25年を振り返る …… 島田 靖
登山界の“核”としての活踵に期待
…… 谷口凱夫
登山研修所の開始に至る経過について
…… 芳野赳夫
研修所の講師として …… 山本一夫
私と文登研 …… 渡辺正蔵
文登研を振り返って …… 出堀宏明
文登研での思い出 …… 荘司昭夫
文登研に参加したお陰で …… 森 紀喜
講師として，もう10年 …… 高野由美子
20年前と今 …… 坂井広志
かつては研修生，現在は講師として
…… 熊崎和宏
松永先生との出会い …… 東 秀訓
文登研との関わり …… 恩田真砂美
講習会に参加して …… 足立友規子
6．平成９年度登山研修所友の会研究会報告
－山岳事故対策を考えるⅡ－
…… 記録 北村憲彦
⑴ 講 演
基調講演
－登山研修所創立30周年にあたって－
登山の現状と今後の課題 …… 湯浅道男
スピードスケート選手のトレーニング
について－勝つための工夫－
…… 前嶋 孝
私の登山 …… 戸高雅史
⑵ 講 義
山岳事故対策－ケガとその対策－
…… 金田正樹
⑶ シンポジウム
山岳事故対策－防御と現場での対応－
…… 総合司会 山本一夫
社会人山岳会の取り組み …… 松本憲親
大学山岳部の取り組み－監督として－
…… 熊崎和宏
大学山岳部の取り組み－コーチとして－
…… 山本宗彦
山岳ガイドの取り組み …… 織田博志
⑷ シンポジウムの記録 …… 北村憲彦
7．既刊「登山研修」索引
VOL.14 平成10年度（1998年）
1．登山記録
⑴ 国内の登山－社会人山岳会員の活躍－
東京ＹＣＣの会員として …… 小柳美砂子
私の登山 …… 澤田 実
国内の登攀 …… 馬目弘仁
登攀クラブ蒼氷での活動 …… 戸田暁人
⑵ 海外の登山
ナンガパルバット登頂 …… 北村俊之
クスムカングール東壁単独登攀
…… 山野井泰史
バフィン島での登攀 …… 名越 実
チョモランマ北稜～北東稜から
大量登頂 1998春 …… 近藤和美
西ネパール サイパル(7,031m)・北面の記録
…… 野沢井歩

1998－99中日科学合同可可西里学術考察
取材隊　東カンツアーリ峰（6,167m）・
登山隊報告 …… 増山　茂
2．登山者の体力とトレーニング
⑴　登山のためのトレーニング
トレーニングを振り返って …… 尾形好雄
私のトレーニング …… 戸高雅史
最大酸素摂取量とトレーニング
…… 鈴木清彦
トレーニングを続けるために
…… 棚橋　清
自分のトレーニングを振り返って
…… 北村俊之
⑵　国体山岳競技選手のトレーニング
国体山岳競技選手の運動特性とトレーニング
…… 林　祐寿
96年ひろしま国体に向けてのトレーニング
…… 佐藤　建
国体山岳競技ってなに？
－山岳競技の運動強度から－
…… 横山　隆
平成６年愛知国体に向けてのトレーニング
…… 北村憲彦
国体選手の育成とトレーニング
…… 古林喜明
「両刃の剣」を携えて …… 畠山　晃
3．論　文
⑴　確保技術
確保理論 …… 柳澤昭夫
雪上の確保（その２）
…… 松本憲親・柳澤昭夫・鈴木　漢
渡邉雄二・藤原　洋・森田正人
雪上救助活動に使用する支点強度の測定結果
について …… 西山年秋・渡邉雄二
ＡＴＣ確保器使用時の基本的注意点
－ある事故の教訓から－
熊崎和宏
⑵　「雪崩」についてわかってきたこと
…… 西村浩一
⑶　中高年登山指導者養成対策
指導者養成についての私案 …… 小野寺斉
ガイドの立場から …… 角谷道弘
⑷　「第３回登山と高所環境に関する
国際医学会議」報告 …… 増山　茂
⑸　ムズターグ・アタ峰登山における
高所順応トレーニングの成果
…… 浅野勝己・剛崎和伸
⑹　現代の大学山岳部員にみられる基礎体力の低下
－過去のデータ，社会人登山家，一般人との比較から－
…… 山本正嘉・柳澤昭夫
渡邉雄二・森田正人
⑺　フリークライミングにおける血中乳酸の蓄積
－同じルートを能力の異なる者が登った場合－
…… 山本正嘉・東　秀磯・柳澤昭夫
渡邉雄二・森田正人
⑻　2,500mにおける睡眠時動脈血酸素飽和度
（SpO_2）と脈拍数（PR）の検討
…… 鈴木　尚・鮴谷佳和・滝沢　哲
安田幸雄・熊野宏一・柳澤昭夫
渡邉雄二
⑼　高所と服薬－事例に基づいて－
…… 堀井昌子
4．平成10年度登山研修所友の会研究会報告
⑴　講　演
「剱・立山・黒部の冬期登攀」
…… 伊藤達夫
「S.S.関西1998秋サガルマタ遠征報告」
…… 松本憲親

⑵　シンポジウム
テーマ「安全対策－確保技術を中心に－」
ア　講　義「確保理論」 …… 柳澤昭夫
（注：上記３の論文で掲載）
イ　パネルディスカッション
…… 記録　山本宗彦
総合司会：尾形好雄
パネリスト：伊藤達夫・松本憲親・北村憲彦
山本一夫・柳澤昭夫
５．既刊「登山研修」索引

VOL.15　平成11年度（1999年）

１．山岳会での活動
チーム84の仲間 …… 丸山隆司
私の登山と山岳会 …… 北村俊之
アラスカの山旅と気象 …… 栗秋正寿
JECCでの活動 …… 畠山亮子
バーバリアンクラブでの活動 …… 野沢井歩
２．登山者の体力とトレーニング（Ⅱ）
⑴　登山研修所の低酸素室を利用して
低酸素室滞在による高所順化トレーニング
とその効果 …… 増山　茂
登山前の常圧低酸素室での睡眠が高所順応
に及ぼす効果について
－2,500mの高度に対する順応効果－
…… 大村靖夫・山本正嘉
渡邉雄二・柳澤昭夫
⑵　高地トレーニング・低酸素トレーニングの実践
と成果について
高地トレーニングの最前線
…… 山地啓司
スピードスケート選手における低酸素
トレーニングの成果 …… 前嶋　孝
クロスカントリースキー選手の高地
トレーニング …… 川初清典・上杉尹宏
⑶　高峰登山の運動生理
－これまでのあゆみと今後の課題－
…… 浅野勝己
⑷　登山のためのトレーニング
大学山岳部のトレーニングの実際
…… 山本宗彦
私のトレーニング …… 松原尚之
私とトレーニング …… 瀧根正幹
⑸　国体山岳競技のためのトレーニング
京都チームのトレーニング …… 植木寛子
マラソンランナー，山を駆ける
－山岳競技歴３年に満たない陸上長距離
選手の山岳競技への想い－
…… 富田雄也
国体山岳競技のためのトレーニング
…… 本島　護
高校山岳部と国体強化 …… 田中　勲
３．論　文
⑴　危急時対策－危機管理の面から－
利尻山西壁青い岩壁登攀において
…… 中川博之
危急時対策－危機管理の面から－
…… 上岡鋼平
危機認識と危機管理 …… 坂井広志
危急時対策－危機管理の面から－
…… 熊崎和宏
⑵　中高年登山者の組織化について
…… 臼田徳雄
⑶　「中高年登山」のためのトレーニング
…… 本島　護
⑷　ツアー登山の問題点と安全対策
…… 黒川　恵
⑸　第19回日本登山医学シンポジウムを開催して
…… 北野喜行

⑹　日本登山医学研究会より（お誘い）
…… 中島道郎
⑺　登山の運動生理学・体力科学に関する調査研究
－1998～1999年度　文部省登山研修所大学山岳部
リーダー研修会における調査研究報告－
…… 山本正嘉・大村靖夫
柳澤昭夫・渡邉雄二
⑻　文部省登山研修所「低酸素室」使用経験
－急性高山病の対策となり得るか－
…… 鈴木　尚・越野慶隆・熊野宏一
柳澤昭夫・渡邉雄二・森田正人
⑼　氷雪歩行時のアックス打ち替えのタイミング
について …… 松本憲親
⑽　滑落停止時のタイミング遅れの致命的結果
について …… 松本憲親
４．平成11年度登山研修所友の会研究会報告
シンポジウム　テーマ
「事故村策－ヘリコプター救助と長期捜索－」
－パネルディスカッションの記録－
…… 記録　山本宗彦
総合司会：重廣恒夫
パネリスト：日下　昭・星野　貢・高瀬　洋
熊崎和宏・宮崎紘一・渡辺輝男
５．既刊「登山研修」索引
VOL.16　平成12年度（2000年）
１．山岳遭難救助の現状と課題
⑴　各組織からのリポート
山岳遭難救助の現状 …… 日下　昭
山岳遭難救助の現状と課題
…… 翠川幸二
2000年冬季，韓国人パーティの遭難救助
レポート …… 川地昌秀
谷川岳における遭難救助の現状と課題
…… 馬場保男
消防・防災杭空隊について …… 松田　健
山岳遭難救助の現状と課題 …… 坂口昌広
ヘリコプター救助に関して …… 谷末克也
山岳遭難救助の現状と課題 …… 木下寿男
⑵　中高年登山者の増加と安全対策
中高年登山者の増加と安全対策
…… 丸山晴弘
山岳人生を全うするために
…… 下山　壽
⑶　山岳ガイドの安全対策
ガイドの安全対策 …… 角谷道弘
⑷　山岳遭難救助に必要な技術研究－その１－
雪がない季節・場所での支点に鉄パイプ・
土嚢などの利用 …… 西山年秋
最新救助用具（シャモニタイプレスキュー
ウインチ）について …… ロー弘子
⑸　救急医療の立場から
挫滅症候群，頚堆損傷への対応
…… 金田正樹
登山とヘリコプター救急医療
…… 岡田眞人
２．登山者の体力とトレーニング（Ⅲ）
⑴　登山者のためのトレーニング処方と今後の課題
…… 北村憲彦
⑵　国体山岳競技選手のトレーニング
国体に向けた強化練習 …… 杉本考男
福島県山岳競技チーム（少年）の強化方法
…… 市川　清
⑶　中高年登山者の体力とトレーニング
私のトレーニング …… 池田錦重
中高年ヒマラヤトレッカーの常圧低酸素滞在
による高所順化トレーニングの有効性
…… 森　紀喜・渡邉雄二
森田正人・柳澤昭夫

３．論　文

21世紀の登山を考える －「国際登山年」に向けて－
…… 江本嘉伸

意識の無い負傷者の背負い搬送 …… 松本憲親

単独登攀確保スィステムについて
…… 松本憲親

４．報　告

確保実習（肩がらみでの確保）における事故の発生と今後の対策について
…… 文部科学省登山研修所

５．登山記録

カナダ　アンクライマブルズ圏谷での登攀
…… 小林　亘

アコンカグア西壁・遭難記 …… 馬目弘仁

６．既刊「登山研修」索引

VOL.17　平成13年度（2001年）

１．登山と状況判断－その１－

⑴　危急時におけるリーダーのあり方
－富士山の暴風にからめて－ …… 松永敏郎

⑵　状況判断力を高めるトレーニングと
登山の実践 …… 柳澤昭夫

⑶　2001年正月の剱岳における
気象遭難の原因を考える …… 清水正雄

⑷　2001年正月の剱岳八ツ峰からの撤退の判断
…… 山本宗彦

２．山岳遭難救助に必要な技術研究－その２－

⑴　遭難救助訓練方法の一例 …… 馬目弘仁

⑵　平成13年度講師研修会での遭難救助訓練の
試み …… 文部科学省登山研修所

⑶　東西遭難救助技術交流会 …… 本郷博毅

⑷　最新の遭難救助用具に関して …… 憙　秀彦

３．論文等

⑴　近年の北陸地方における冬季気象の
変化と特徴 …… 多野正一

⑵　技術論再考 …… 松本憲親

⑶　登山者の道迷いに関して …… 青山千彰

⑷　確保理論再考 …… 北村憲彦

⑸　(社)日本山岳協会スポーツクライミング講習会
報告 …… 原　一平

４．登山記録

ガッシャーブルムⅠ・Ⅱ峰連続登頂
…… 高橋和弘

５．登山研修所友の会研究会報告

登山研修所友の会総会パネルディスカッション
…… 加藤智司

６．既刊「登山研修」索引

VOL.18　平成14年度（2002年）

１．山岳遭難救助に必要な技術研究－その３－

⑴　遭難救助器具の開発 …… 柄澤良一

⑵　最近の遭難救助用具に関して …… 堤　信夫

⑶　山岳遭難救助の考え方と問題点
…… 長岡健一

２．論文等

⑴　中高年登山安全対策の現状 …… 西内　博

⑵　青少年に関する登山の現状とその隘路
…… 石澤好文

⑶　スポーツクライミングの現状
…… 東　秀磯

⑷　山の自然環境保護に対する最近の取り組み
…… 鍛冶哲郎

⑸　登山者にとっての「国際山岳年」、その明日
…… 江本嘉伸

⑹　確保理論再考⑵ …… 北村憲彦

⑺　アンカーの構築 …… 松本憲親

⑻　山岳ガイドの養成

・山岳ガイド資格の今後 …… 磯野剛太

・北海道アウトドア資格制度について
（山岳ガイド資格） …… 宮下岳夫

３．高所医学・生理学に関する調査研究
⑴　高所へのトレーニング～新たな試みと今後の課題について …… 恩田真砂美
⑵　高所登山で怒る脳静脈洞血栓症
ガッシャーブルムⅠ峰登頂後に発症した一例
…… 斎藤　繁・田中壮吉
４．登山記録
⑴　日印合同
東カラコルム踏査・パドマナブ登山隊
…… 坂井広志
⑵　ネパールヒマラヤの未踏峰
Tengi Ragi Tau(6,943m) …… 江崎幸一
５．参考資料　遭難データ
６．既刊「登山研修」索引

VOL.19　平成15年度（2003年）

１．登山技術に関する調査研究
⑴　登山と状況判断－その２－
ギャチュン・カンからの生還
…… 山野井泰史
⑵　山岳遭難救助に必要な技術研究－その４－
支点の構築とその強度について
…… 西山年秋
⑶　アンカーの構築　その２ …… 松本憲親
⑷　ホワイトアウトナビゲーションについて
…… 加藤智司
２．論文等
⑴　中高年安全登山に関する取り組みについて
ア　富山県の取り組み …… 木戸繁良
イ　茨城県の取り組み …… 菅谷政宏
⑵　日本山岳協会の山岳共済保険制度の歴史と今日
…… 田中文男
⑶　高校山岳部の現状
新潟県立三条工業高校山岳部
…… 吉田光二
埼玉県の高校山岳部の今 …… 町田伸一
⑷　山の自然環境問題（トイレ）に対する取り組み
…… 上　幸雄
⑸　スポーツ行政の動向 …… 坂元譲次
⑹　今夏におけるヨーロッパの異常気象
…… 中島政男
⑺　北アルプスの近年の積雪変動と山岳遭難
…… 飯田　肇
３．登山医学・生理学に関する調査研究
⑴　凍傷とその対策 …… 金田正樹
⑵　立山登山が呼吸・循環機能や脚筋力・パワーに与える影響
…… 山地啓司・仲村建一・橋爪和夫
堀田朋基・布村忠弘・北川鉄人
４．海外登山記録
⑴　アンナプルナⅠ峰南壁登山報告
（8,000m峰 14座 完登） …… 山本　篤
⑵　キリマンジャロ登頂 …… 金山広美
⑶　最近のヒマラヤ登山の現況 …… 尾形好雄
５．調査研究事項
⑴　高等学校において登山活動を行っている運動部に関する調査について
…… 文部科学省登山研修所
６．既刊「登山研修」索引

VOL.20　平成16年度（2004年）

１．登山技術に関する調査研究
⑴　登山と状況判断　―その３―
関西学院大学ワンダーフォーゲル部の大長山遭難に学ぶ …… 北村憲彦
⑵　山岳遭難救助に必要な技術研究－その５－
支点の構築とその強度について―その２―
…… 西山年秋
⑶　グロウヴヒッチとムンターヒッチ
その正しい名称と結び方 …… 松本憲親

⑷ 衝撃荷重の小さいロウプとグラウンドフォール …… 松本憲親
⑸ 道迷い遭難：その実態と背景 …… 村越　真
⑹ 岩登りのプロテクションについての考察 …… 黒田　誠
⑺ 雪崩事故におけるセルフレスキューの実践について …… 樋口和生
2　論文等
⑴ 中部地区中高年安全登山指導者講習会報告 …… 小畑和人
⑵ 法政大学山岳部の取り組み …… 神出直也
⑶ 山の自然活用と施設整備の方向 防災、教育、健康に山の自然を生かすために …… 上　幸雄
⑷ 雪庇形成のメカニズム （過去の雪庇研究の紹介） …… 西村浩一
3．登山医学・生理学・トレーニング科学に関する調査研究
⑴ 高所登山と低酸素トレーニング 新しく開発された常圧低酸素室の有効性 …… 山本正嘉
⑵ 踏み台昇降運動中の生理的応答からみた登山中の至適な運動 …… 山地啓司
⑶ 山岳ランニングのトレーニング、コンディショニングおよびレース中の身体ケアについて …… 田中正人
⑷ スポーツクライミングの特徴と科学的トレーニング方法 …… 新井裕己
4．海外登山記録
⑴ 鱶鰭同人・インドヒマラヤ遠征報告 …… 岡田　康、花谷泰弘、馬目弘仁
⑵ H．A．M …… 竹内洋岳
⑶ 2004年のヒマラヤ登山 …… 尾形好雄
5　調査研究
⑴ 登山研修所における積雪観測報告 2003－2004年冬期 …… 文部科学省登山研修所
6　既刊「登山研修」索引

VOL.21　平成17年度（2005年）

1　登山技術に関する調査研究
⑴ 登山と状況判断―その４― 登山中に的確な判断をするための準備 …… 山本宗彦
⑵ 登山に必要なナヴィゲーション技術 …… 村越　真
⑶ リムーバブル・プロテクションについて …… 笹倉孝昭
⑷ アンカーの構築―その４― ダブルストランドフィギュアエイトノットは危険だ―懸垂下降ロウプの結合― …… 松本憲親
2　リポート
⑴ 大学山岳サークルの現状 信州大学山岳会の活動状況 …… 横山勝丘
⑵ 今日のアラスカ登山 エクストリームアルピズニズムの実験場 …… 横山勝丘
3　登山医学・生理学・トレーニング科学に関する調査研究
⑴ 中高年登山者の体力の弱点、トレーニングの盲点、その解決策―とくに転倒防止の観点から― …… 山本正嘉
⑵ 登山中の突然死―その実態と予防― …… 野口いづみ
⑶ クライミングに伴う関節障害―現状とケア― …… 大森薫雄

4　雪崩に関する調査研究
⑴　あられの弱層について …… 飯田　肇
⑵　雪崩と人間の関係について …… 出川あづさ
5　海外登山記録
⑴　2005年のヒマラヤ登山 …… 尾形好雄
⑵　ムスターグアタ東陵～シブリン北壁
新ルートの録 …… 平出和也
⑶　ギャチュンカン報告―頂へ―
…… 重川英介
6．調査研究
⑴　登山研修所における積雪観測報告
2004－2005年冬期
…… 文部科学省登山研修所
⑵　懸垂下降器具の制動力について
…… 文部科学省登山研修所
7．既刊「登山研修」索引

VOL.22　平成18年度（2006年）

1　登山技術に関する調査研究
⑴　登山の状況判断―その５―
登山における気象遭難防止のための気象判断
…… 城所邦夫
⑵　デイジーチェィン等による自己確保についての注意点
…… 文部科学省登山研修所
⑶　懸垂下降器具の制動力についてⅡ
…… 文部科学省登山研修所
2　大学山岳サークルの現状　東海大学山岳部の取り組み …… 出利葉義次
3　登山医学・生理学に関する調査研究
⑴　アンケートから見た大学生の山岳系サークルの現状 …… 山本正嘉・小林　亘
⑵　ジム・ダフ先生の講演を聴いて
ー欧米諸国での高所医学のガイドラインー
…… 貫田　宗男
⑶　救助現場における外傷処置 …… 畑中宏紀
4　海外登山記録
⑴　2006年のヒマラヤ登山 …… 尾形好雄
⑵　メルー峰 …… 岡田　康
5　雪崩に関する調査研究
⑴　登山研修所における積雪観察報告 2005-2006年
…… 飯田　肇
6　その他
⑴　ブレーンストーミングを活用した研究協議
…… 北村憲彦
⑵　ロープワークの事前研修について
…… 笹倉孝昭
⑶　インドの登山研修施設 …… 尾形好雄

VOL.23　平成19年度（2007年）

1　登山技術に関する調査研究
⑴　登山におけるGPS受信機の利用とその限界
…… 村越　真・宮内佐季子
⑵　分かりやすい確保理論（入門編）
…… 北村憲彦・松本憲親
⑶　易しい確保理論（２基礎編）
…… 松本憲親・北村憲彦
⑷　登攀用具の強度実験
…… 文部科学省登山研修所
⑸　欧米における登山組織管理者が目指す標準化について …… 青山千彰
⑹　リーダー論 …… 山本　篤
2　リポート
「クビ・ツァンポ源流域学術登山隊2007」
～リーダーから見た大学生の現状と育成について～
…… 和田豊司
3　登山医学・生理学・トレーニング科学に関する調査研究
⑴　JSMM登山者検診ネットワークの構築とその試験的運用 …… 堀井昌子

⑵　凍傷による手足の指の切断とクライミング能力
…… 山野井泰史
4　雪崩に関する調査研究
最近の雪崩事故状況調査報告て … 上石　勲
5　海外登山記録
2007アンデスの記録 …… 長坂　心
6　氷雪に関する調査研究
登山研修所における積雪観察報告 2006－2007年
…… 飯田　肇
7．既刊「登山研修」索引

VOL.24　平成20年度（2008）

1．登山技術に関する調査研究
⑴　登山と状況判断―その7-GPSを使った道迷いのない山歩きシステム
A GPS Aided Lost-Free Wandering System of Matsushita,Yamamoto and Ogino
…… 荻野和彦
⑵　集団登山における状況判断 …… 大西　浩
⑶　高所クライミングの実際とそのトレーニング
…… 佐藤裕介
⑷　中高年登山者の体力評価システム構築の試み
…… 山本正嘉・西谷善子
⑸　北アルプス大日岳の巨大雪庇調査
…… 飯田　肇・横山宏太郎・川田邦夫
⑹　登山研修所における積雪観測報告
2007－2008年冬期 …… 飯田　肇
⑺　山岳遭難捜索および救助における確保理論と装備 …… 笹倉孝昭
⑻　山岳遭難救助に必要な確保理論
―その先端部分1― …… 松本憲親
⑼　読図自己評価用紙と読図スキルテストの作成
<速報> …… 村越　真
⑽　ロープによる張り込み救助についての実験
…… 文部科学省登山研修所
2．登山界の現状と課題
⑴　京都学生登山交流会の設立経緯と現状及び将来像 …… 佐々木大造
⑵　英国クライミングの現状 …… 杉野　保
3．海外登山記録
⑴　2007年のヒマラヤ登山 …… 尾形好雄
⑵　ヒマラヤ登山:2008年の記録 …… 池田常道
⑶　2008アンデスの記憶ワンドイ縦走からの敗退
…… 上田幸雄
⑷　テンカンポチェ峰北東壁登攀 …… 馬目弘仁
4．リーダー論
⑴　夏期富士山におけるツアー登山の実態と問題点
…… 天野和明
⑵　リーダーについての私見 …… 黒田　誠
7．既刊「登山研修」索引

VOL.25　平成21年度（2009）

1．登山技術に関する調査研究
⑴　登山と状況判断（含むリーダー論）
・登山におけるリーダーとは …… 尾形好雄
⑵　登山のトレーニングに関する調査研究
・ジュニアクライマーを対象としたトレーナー活動の現状と課題
…… 西谷善子・山本正嘉
⑶　登山医学・生理学に関する調査研究
・中高年登山者向けの体力評価システム構築の試み（第2報）
164名の体力測定およびアンケート調査からわかったこと
…… 山本正嘉・西谷善子
⑷　雪氷に関する調査研究
・登山研修所における積雪観察報告2008-2010冬期
…… 飯田　肇・東　秀訓
・立山室堂平東端にある大型雪庇の調査報告
…… 川田邦夫・飯田　肇・横山宏太郎

⑸　登山・登はん技術に関する調査研究

・登山者の読図・ナヴィゲーションスキルの実態（報告）

登山研修所専門調査委員

静岡大学教育学部 …… 村越　真

２．登山界の現状と課題

⑴　(大学・社会人・中高年)山岳サークルの現状

・中高年登山の課題 …… 田村宣紀

⑵　世界の登山界の動向・課題

・頂上とは何を指すのか？ …… 池田常道

３．海外登山記録

・ゴールデンピラー登撃記

極限状態でのアルパインクライミングについて

…… 佐藤裕介

・ネムジュン西壁初登撃

信州大学創立60周年記念ペリヒマール登山隊2009

…… 年田辺治

・ヒマラヤ登山2009年の主要記録

…… 池田常道

VOL.26　平成22年度（2010）

１．登山技術に関する調査研究

⑴　登山と状況判断（含むリーダー論）

・「ぼくらの時代」、そして「いま」

…… 岩崎元郎

⑵　登山のトレーニングに関する調査研究

・オーストリアにおけるスポーツクライミングのトレーニングシステム

…… 西谷善子・山本正嘉

⑶　登山医学・生理学に関する調査研究

・登山研修所における積雪観測報告

2009－2011年冬期

…… 飯田　肇・東　秀訓

・立山室堂平東端にある大型雪庇の堆積時期の推定

…… 飯田　肇・川田邦夫・横山宏太郎

⑷　登山・登はん技術に関する調査研究

・懸垂下降用ロープ結束強度試験報告

…… 永井　豊・井納吉一・鈴木由郎

瀧本　健・堤　信夫

２．登山界の現状と課題

⑴　(大学・社会人・中高年)山岳サークルの現状

『わんぱく登山部』の実践と成果

…… 今村みずほ・松島　宏

⑵　登山界の動向・課題

・日本における国際認定山岳医制度の誕生

…… 増山　茂

３．海外登山の記録

・ヒマラヤ/カラコルム2010年の主要登攀

…… 池田常道

・北米14ヵ月の記録 …… 横山勝丘

４．会員投稿

・登山道のコード化―六甲山地を事例として

…… 藤崎和生

VOL.27　平成23年度（2011）

１．登山技術に関する調査研究

⑴　登山のトレーニングに関する調査研究

・ミックスクライミングのトレーニング

…… 奈良誠之

⑵　登山医学・生理学に関する調査研究

・山でのファーストエイド

…… 大城和恵

⑶　雪氷に関する調査研究

・登山研修所における積雪観測報告　2010－201

冬期 …… 飯田　肇・東　秀訓

・立山連峰の稜線での気象観測

…… 飯田　肇・福井幸太郎

⑷　登山・登はん技術に関する調査研究

・「確保理論テキストの構成について」試案

国立登山研修所確保理論テキスト作成研究会

2．登山界の現状と課題
⑴ 登山界の動向・課題
・登山の教育的効果：学習指導要領と現場の感じる効果および課題から
…… 村越 真・渡邉雄二・東 秀訓
高嶋和彦・若山亜美里
・「やまどうぐレンタル屋から見た、登山界の現状と課題」 …… 山田 淳
・トレイルランニングの現状 …… 横山峰弘
3．海外登山の記録
・未踏の壁を見出すーナムナニ南東壁までの道のり …… 平出和也
・ダッドメイン東壁 …… 増本 亮
・2011年度世界の主要登攀 …… 池田常道
・韓国の安全登山教育及び日韓交流の活性化
…… 金 鐘植

VOL.28 平成24年度（2012）

1．登山技術に関する調査研究
⑴ 山岳サークルの現状
・日本山岳会Youth-Clubの試み
…… 野沢誠司
・ウインタークライマーズミーティングに関わって
…… 北村誠一
⑵ 山岳のトレーニングに関する調査研究
・アルパインクライミングの考察
…… 増本 亮
⑶ 登山医学・生理学に関する調査研究
・Wilderness First Aidの意義とその可能性
…… 豊田啓彰
・Non-Caucasianと高所－進化医学的所見を中心に－
…… 松林公蔵
・現代の大学生登山部員および優秀な社会人登山家の体力特性
…… 宮崎喜美乃・山本正嘉
・登山におけるエネルギーと水分補給の指針
…… 山本正嘉
・山での登高能力による中高年登山者の体力評価
－「六甲タイムトライアル」の試み－
…… 三輪文一
⑷ 雪氷学に関する調査研究
・立山連峰の積雪と氷河
…… 飯田 肇
⑸ 登山・登はん技術に関する調査研究
・フォロワー確保時のビレイアンカーにかかる衝撃荷重の検証
…… 大阪府山岳連盟技術委員会
2．登山界の現状と課題
・位相の転換－冒険の定義と現代における探検の可能性 …… 角幡唯介
3．海外登山記録
・プロ登山家・竹内洋岳による8000m14座コンプリートをめぐって
…… 竹内洋岳・柏 澄子
・常識を覆すハワイ火山島の渓谷群
…… 成瀬陽一
・キャシャール峰・南ピラー初登攀の回想
…… 馬目弘仁
4．その他（平成24年度のトピック等）
・世界の主要登攀 …… 池田常道

VOL.29 平成25年度（2013）

1．登山技術に関する調査研究
⑴ 山岳サークルの現状
・同人青鬼の活動について
…… 稲田千秋
⑵ 登山のトレーニングに関する調査研究
・高所アルパインクライミングにおける食料、水分補給の計画の仕方
…… 長門敬明

⑶　登山医学・生理学に関する調査研究
・三浦雄一郎氏の80歳でのエベレスト登頂を支えた体力とそのトレーニング方法 …… 安藤真由子
・雪崩埋没者の蘇生ガイドライン最新情報 …… 大城和恵
・低体温症についての新しい知見 …… 金田正樹
⑷　雪氷学・雪崩に関する調査研究
・雨氷による気象遭難－2012年５月白馬岳－ …… 飯田　肇
⑸　登山・登はん技術に関する調査研究
・山岳遭難救助活動における墜落に対する個人保護用具の管理 …… 浦野誠動
・フォロワーの確保についての検証（その２） …… 高野由美子
・登山におけるヒヤリハットの実態 …… 村越　真
２．登山界の現状と課題
・アウトライアー（ジャナク・チュリ）東峰初登頂 …… 萩原浩司
・ヒマラヤ冬季登山の変遷 …… 池田常道
・シブリン隊、Ｋ７はなぜ成立できたのか …… 山本正嘉
３．2013年クスムカングル南東壁（6369m）登山隊を統括して …… 高橋玲司
４．その他（平成25年度のトピック等）
・ピオレドール賞を審査するということ …… 横山勝丘
・世界の主要登攀2013年告 …… 池田常道
・大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪研修院訪問報告 …… 小林　亘

VOL.30　平成26年度（2014）

まえがき …… 登山研修所長
１．登山に関する調査研究
⑴　アルパインクライミングの下降技能について …… 馬目弘仁
⑵　登山研修所による積雪観測2011～2014冬期 …… 飯田　肇　他
⑶　北アルプスにおける登山中のヒヤリハットの実態 …… 村越　真　他
⑷　全国規模での高校山岳部の実態調査
―指導者と生徒へのアンケート結果から― …… 大西　浩　他
⑸　山での登高能力を指標とした体力測定 …… 山本正嘉　他
２．登山界の現状と課題
⑴　「山の日」の祝日制定と登山～自然と向き合って生きる力を～ …… 成川隆顕
⑵　御嶽山噴火事故と登山条例　火山との共生 …… 近藤幸夫
⑶　御嶽山噴火救助活動の聞き取り調査から …… 大城和恵　他
⑷　「山の日」制定と山岳診療所－過去、現在、未来－ …… 臼杵尚志
⑸　『山岳医』として安全登山普及への取り組みと提言 …… 大城和恵
⑹　登山の現状と課題 …… 笹倉孝昭
⑺　ロッククライミングが猛禽類に与える影響について考える …… 成瀬陽一
⑻　立山連峰におけるツキノワグマの生態と事故対策 …… 後藤優介
３．海外登山記録
⑴　アラスカの38日間 …… 和田淳二
⑵　K7縦走の試みとバダルピーク登頂 …… 横山勝丘
４．その他
⑴　変容するシェルパ社会 …… 池田常道

⑵　世界の主要登攀2014 …… 池田常道
⑶　大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪院との交流事業報告 …… 小林　亘
５．既刊「登山研修」索引

VOL.31　平成27年度（2015）

１．登山に関する調査研究
⑴　登山研修所による積雪観測2015冬期 …… 飯田　肇
⑵　2012～2013年の登山目的による山岳遭難の実態 …… 村越　真　他
⑶　イギリスのNational Navigation Award Scheme (NNAS) について …… 村越　真
⑷　スポーツクライマーのための簡易な手指筋力テストの開発とその活用方法 …… 西谷善子　他
⑸　トランスジャパンアルプスレース2014における調査研究 …… 山本正嘉　他
⑹　アルパインクライマーの生活装備と食料、選択と活用の実際 …… 澤田　実
⑺　凍傷の真実 …… 金田正樹
⑻　読図とナビゲーション～研修の経緯とこれから～ …… 小林　亘
２．登山界の現状と課題
⑴　山の医療が注目される中で～医療者に必要な貢献とは～ …… 大城和恵
⑵　気象遭難に遭わないために必要な知識と、最近の気象遭難の傾向 …… 猪熊隆之
⑶　富山県における山岳遭難防止の取り組み～救助隊員として想うこと～ …… 湯浅真寿
⑷　岐阜県における登山届の現状とこれから …… 杉下　尚
⑸　登山者へのアンケート調査から見えてくる最近の登山者の様子 …… 北村憲彦
⑹　高校山岳部での安全対策－長野県の場合 …… 大西　浩
⑺　現代登山者に向けた安全登山のすすめ（３つのグレーディング） …… 杉田浩康
⑻　中央アルプス西駒山荘の再建にまつわる歴史と将来について …… 宮下拓也
⑼　スポーツクライミングの五輪種目化と現状 …… 小日向　徹
３．海外登山記録
⑴　世界の主要登攀2015 …… 池田常道
⑵　遠征登山に求めるもの－東ネパール・カンチェンジュンガエリア未踏峰への50日間 …… 谷口けい
４．その他
⑴　ネパール大震災その時・2015年春ランタン・リ登山隊 …… 兵頭　渉
⑵　同時代的アルパインクライミングについて …… 恩田真砂美
⑶　講師としてリーダー研修会に参加するなかで学んだあれこれ …… 横山勝丘
⑷　立山「ジオ登山」のすすめ …… 飯田　肇
⑸　大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪研修院との交流事業に参加して … 柳澤義光
⑹　講師研修会（救助技術Ⅰ）に参加して …… 韓国登山学校　パク校長
５．既刊「登山研修」索引

VOL.32　平成28年度（2016）

まえがき …… 登山研修所長
１．登山に関する調査研究
⑴　黒部トサカ状岩峰東壁冬季初登のタクティクスと装備について …… 佐藤裕介
⑵　よりよい登山を実現するための「能動学習型」トレーニングの必要性 …… 山本正嘉
⑶　登山研修所における積雪観測報告2015～2016年冬期 …… 飯田　肇　他
⑷　火山と登山－活火山との付き合い方 …… 萬年一剛

⑸ 安全な登はん技術の研修のために ― 平成28年度講師研修会（登はん技術） …… 北村憲彦
2．登山界の現状と課題
⑴ エヴェレストはどこへ行くのか？ …… 池田常道
⑵ 登山届提出の義務化を通して、山のリスクとの向き合い方について考える …… 村越　真
⑶ 海外登山の山岳保険の現状と課題 …… 貫田宗男
⑷ 富士山八合目での医療活動からみた登山者の実態（＋100名に尋ねた医療に関する基礎知識） …… 大城和恵
⑸ 高齢者における週一回登山の状況とスロー登山の効果 …… 石橋清志
⑹ スポーツクライミングの五輪種目決定 ― 日山協の今後の取り組みと課題 …… 尾形好雄
⑺ ナヴィゲーション・インストラクター認定制度について（山岳遭難事故防止の観点から） …… 小泉成行　他
3．海外登山記録
⑴ カン・ナチュゴ南壁 …… 山本大貴
⑵ ルンポカンリ北壁初登攀記録 …… 中島健郎
⑶ 世界の主要登攀2016 …… 池田常道
4．その他
⑴ スピードクライミングの実践とその応用 …… 横山勝丘
⑵ 谷口けい最後の遠征 東ネパール パンドラ峰の記録についての追記 …… 恩田真砂美
⑶ 御嶽山噴火 火山災害に遭遇して～噴火の恐怖と登山者がもつべき意識～ …… 小川さゆり
⑷ 2014年９月27日御嶽山噴火当日の救助 …… 朝日克彦
⑸ 大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪研修院との交流事業報告 …… 小林　亘
5．既刊「登山研修」索引

VOL.33　平成29年度（2017）

まえがき …… 登山研修所長
1．登山に関する調査研究
⑴ 極夜探検におけるナビゲーション …… 角幡唯介
⑵ 沢登りのリスク回避 …… 佐藤裕介
2．登山医学・生理学・雪氷学に関する調査研究
⑴ インターハイ登山競技における医療的安全管理 …… 大西　浩　他
⑵「低気圧性雪崩」とその予測システムー悲惨な雪崩事故を繰り返さないためにー … 上石　勲　他
⑶ 立山西斜面における標高別積雪観測報告 2016～2017年冬期 …… 飯田　肇　他
3．登山界の現状と課題
⑴ 高校生の積雪期登山を考える …… 大西　浩
⑵ 群馬県高体連「リーダー冬季講習会」の始まり …… 田中洋史
⑶ この50年の登山界の変遷と山岳団体のこれから …… 尾形好雄
⑷ 登山とスポーツ科学ー今後の課題 … 山本正嘉
⑸ 登山医学の展望：登山スポーツの多様化と登山医学 …… 増山　茂
⑹ スポーツクライミング及びJMSCAの現状と課題 …… 合田雄治郎
⑺ 山岳スキー競技の変遷とこれから … 澤田　実
⑻ トレイルランニング …… 村越　真
⑼ アイスクライミングの現状と展望 …… 奈良誠之
4．山岳遭難救助の歴史と今後の課題
～元救助隊長からの提言～
⑴ 山岳遭難救助に携わって22年、今後の課題 …… 宮﨑茂男
⑵ 殉職事故の絶無を願って …… 髙瀬　洋

⑶　私の山岳警備隊人生 …… 谷口光洋
⑷　山岳救助における組織的救助活動の法的課題 …… 溝手康史
５．山小屋からのメッセージ
⑴　登山とスキーの一体化を目指して‥ 五十嶋博文
⑵　槍ヶ岳とわたし …… 穂苅康治
⑶　小屋番のひとり言 …… 山口　孝
６．海外登山記録
⑴　BEATRICE東壁 高所におけるビッグウォールフリークライミングの実践 …… 増本　亮
⑵　カラコルム山脈・Ｋ７西峰南西稜初登攀 …… 横山勝丘
⑶　シスパーレ北東壁初登攀 …… 平出和也
⑷　ザンスカール PK6000(Rucho)未踏峰登頂 …… 古畑隆明
⑸　インドヒマラヤ2017遠征報告 …… 上田幸雄
７．その他
⑴　平成29年度大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪研修院との交流事業について …… 島田和昭
８．国立登山研修所創立50周年特集
～登山研修所これからの課題と展望～
⑴　大学生リーダー研修会今後の展望‥ 鈴木清彦
⑵　大学山岳部と登山研修所の関わり‥ 山本　篤
⑶　大学生登山リーダー研修会の展望‥ 佐藤祐樹
⑷　高等学校等山岳部指導者の研修はどうあるべきか …… 大西　浩
⑸　「中高年安全登山指導者講習会」のこれまでと今後の展望 …… 北村憲彦
⑹　登山研修所でしてきたこととこれからすべきこと …… 小林　亘
⑺　山岳遭難救助の展望 …… 長岡健一
⑻　女性登山指導者の養成に関しての展望 …… 高野由美子
⑼　女性の登山指導者にまつわること …… 柏　澄子
９．国立登山研修所年表

VOL.34　平成30年度（2018）

まえがき …… 登山研修所長
１．登山に関する調査研究
特集 －登山とトレーニング－
【１】トレーニングと登山者の体力向上
⑴　『Training for the New Alpinism』から読み解くトレーニング理論 …… 加藤直之
⑵　高所登山のためのトレーニングと体調管理 …… 杉田浩康
⑶　超長時間山岳耐久レースにおけるパフォーマンス向上戦略 …… 高山史徳
⑷　登山中の身のこなしをよくする「登山体操」の紹介 …… 山本正嘉　他
【２】トレーニングと登山技術の獲得
⑸　アルパインスタイルでの新ルート登攀のタクティクス …… 佐藤裕介
⑹　登山における移動技術を高めるトレーニング方法の検討 …… 東山昌央
⑺　長期冬期登山の幕営及び生活（食料計画などを含めた）技術論 …… 伊藤仰二
【３】トレーニングとスポーツクライマーの指導
⑻　スポーツクライミングにおける競技力向上サポート体制のあり方 …… 西谷善子　他
⑼　ユーススポーツクライマーに対する栄養指導のあり方 …… 長迫　凪　他
２．登山界の現状と課題
⑴　UIAA公認夏山リーダー資格制度について …… 蛭田伸一
⑵　山岳団体の募集型登山（講習会等）と旅行業法の関係 …… 黒川　惠
【特別論考】アルピニズム －日本における変遷

と今― …… 和田城志
3．海外登山記録
⑴ 2018セロ・キシュトワール北東壁をおえて …… 山本大貴
⑵ 世界の登山記録2017～2018 …… 池田常道
4．その他
⑴ 山岳救助活動の現場における『消防防災ヘリと地上の消防隊との連携』の課題 …… 小林信彦
⑵ 富山県警察山岳警備隊による欧州視察訓練 …… 柳澤義光
⑶ 平成30年度大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院との交流事業 …… 滝川隆一
⑷ 平成30年度大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院との合同登山 …… 新井健二
⑸ 研修事業の新たなスタート ～成果と課題～ …… 国立登山研修所
⑹ 登山研修所における積雪観測報告 2017～2018年冬期 …… 飯田 肇 他
5．既刊「登山研修」索引

VOL.35 令和元年度（2019）

まえがき …… 登山研修所長
1．登山に関する調査研究
⑴ しなやかに登るアイスクライミングの提案 …… 安達ナオコ
⑵ リスクを伴うフリークライミングにおけるメンタルコントロールの重要性について：称名滝フリーソロの例 …… 中嶋 徹
⑶ スポーツクライマーに対する栄養サポートの実践例 …… 長迫 凪・西谷善子
⑷ 日本の現存氷河の概要 …… 飯田 肇
2．登山界の現状と課題
⑴ 山岳地帯でのドローン活用について現状と展望 …… 近藤幸夫
⑵ ロープクライミング中の重大事故の傾向と対策について～フリークライミングインストラクターから見た私的見解と対策～ …… 長門敬明
⑶ 山岳看護視点による高校登山安全管理サポート～高校登山競技での『体調振り返りシート』導入を試みて～ …… 浦川陽子
⑷ 長野県の学校集団登山の現状と安全管理 ― 山岳医の立場から ― …… 千島康稔
3．海外登山記録
⑴ 2019年パタゴニアでのパートナー救出活動について …… 横山勝丘
⑵ 世界のおもな登山記録2019 …… 池田常道
⑶ ラカポシ南壁新ルート登攀におけるタクティクス …… 中島健郎
⑷ 2019インドヒマラヤ・メントーサ峰 …… 和田淳二
4．その他
⑴ 大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪研修院との交流事業を通じて …… 櫛引知弘
⑵ 鉄砲水からの生還 …… 小倉直宗
⑶ 保育園児の集団登山 ～ 山の子保育園の登山への関わり ～ …… 山の子保育園長
⑷ 中高年登山者の安全登山のための体力評価 ― 丹沢塔ノ岳での試み ― …… 高橋昌嗣
5．既刊「登山研修」索引

VOL.36 令和２年度（2020）

1．登山に関する調査研究
⑴ スポーツクライミング選手の低体重問題について …… 六角智之・西谷善子
⑵ 科学的な手法を用いて短期間で著しくリードの能力を改善できたスポーツクライマーのトレーニング事例 …… 西谷善子・山本正嘉
⑶ 週１回の低山登山がもたらす恩恵とその具体

的な実施方法について
…… 笹子悠歩・山本正嘉
⑷ 登山研修所における積雪観測報告　2018～2020年冬期 …… 飯田　肇・金山康成・和田真幸
⑸ 2018、19年の台風の特徴と山岳における被害との関係について …… 猪熊隆之

２－１．登山界の現状と課題

特集 ― 登山と新型コロナウイルス ―

⑴ コロナ禍の下での高校山岳部の活動 ― 現状と課題 ― …… 大西　浩
⑵ コロナ禍における大学山岳部の活動 ― 現状と課題 ― …… 中澤暢美
⑶ コロナ禍の下で実施した安全登山指導者研修会の安全対策 ― withコロナに対応した研修会開催事例 ― …… 和田真幸
⑷ 登山を中断すると身体はどうなるのか？再開するとどうなるのか？ …… 山本正嘉
⑸ 新型コロナウイルス時代の登山界の展望
…… 山田　淳

２－２．登山界の現状と課題

⑹ ＩＴ技術を活用した未組織登山者への安全登山の支援 …… 齋藤大助
⑺ クライミングをこれからも楽しむために
…… 黒田　誠
⑻ 登山道は誰のものか …… 平野悠一郎

３．海外登山記録

⑴ 旅が教えてくれたこと ～ ビッグウォールを巡る旅 ～ …… 増本　亮

４．その他

⑴ 剱沢雪渓の最近の変動
… 飯田　肇・福井幸太郎
⑵ ツキノワグマ対策・「with Bear」時代の登山術 …… 白石俊明

５．既刊「登山研修」索引